

## 【令和8年 第5回大山町教育委員会 議事録】

日時 : 令和8年4月28日(火) 午前9時30分  
場所 : 名和公民館 第1会議室  
出席委員 : 門脇明子、向陽寛孝、兜山洋美、山本健一  
欠席委員 :  
教育長 : 鷲見寛幸  
その他の出席者 : 教育次長(浦木)、社会教育課長(西尾)、幼児・学校教育課長(井上)、  
幼児・学校教育課参事(鷲見)、幼児・学校教育課長補佐(中井)  
参観人 : 0人

### 日 程

#### 1. 開会宣言(午前9時30分)

教育長

ただいまから第5回大山町教育委員会を開会します。日程については、配布資料のとおりです。

#### 2. 議事日程

教育長

会議時間については、午前9時30分から終了目標を午前11時00分とします。

##### 日程第 1 会議時間の決定

自 午前 9時30分 至 午前11時00分

##### 日程第 2 教育長報告並びに連絡事項

教育長

それでは、皆さん、おはようございます。

では、定例の教育委員会を始めさせていただきます。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

今ちょうど修学旅行に行っている学校がありまして、大山中学校と中山中学校が修学旅行です。いつもどおりの関西方面ということで、今日は最終日ですからUSJですか。天気も良くてUSJを満喫して帰ってくると思います。名和中学校だけが先週でしたか。

先々週でした。だいぶ早かったです。今のところ無事に過ごしてるということでした。

先日は、名和さくらの丘保育園ではノロウイルスの疑いのある子が出たりとか、感染の疑いもあったりしてバタバタしましたが、今はもう落ち着いているんですね。

教育次長

落ち着いています。

教育長

落ち着いているということで良かったです。

では、議事日程第2、教育長報告並びに連絡事項に移らせていただきます。

3ページをお開きください。4月1日の町職員辞令交付式、皆さん方には大変お世話になりました。今、教員不足の中で十分な配置ができていない部分が若干ありますけど、他町村に比べると大山町はかなり充足してる方だという風に思います。新しい年度の始めということで、皆さん方にお言葉をいただいたりしました。ありがとうございました。

2日には総合文化祭の在り方検討委員会がありまして、最終報告の結論が出て、今までどおり、総合文化祭は各地区持ち回りで、実行委員会形式でお願いしたいというような最終報告が出ました。公民館祭は総合文化祭とは少し違うものだというような認識のもとで、公民館祭と総合文化祭は行っていく。ただ、総合文化祭は規模が大きすぎて、町職員のスタッフの数が多すぎるという部分があり、その負担軽減も今後の考慮を入れながら進めていくべきではないかというような意見がありました。今年はきちんと今までどおりの総合文化祭を行うんですが、やり方については今後検討していくということになりました。

14日、名和さくらの丘保育園の春見つけがありました。その前の日の13日、ここには書いてありませんが、中山みどりの森保育園の春見つけがありました。この2つの保育園で年長さんと歩いたんですが、中山みどりの森は13人で歩きましたし、名和さくらの丘は15人ということで、非常にコンパクトな人数で、とっても私自身もやりやすいなと思ったんですが、この後の20日、大山きゃらぼく保育園の年長が40人おりまして、やっぱり保育園で1クラス20人になるというのは、数字で言えば適正かなと思いますけど、実際、子供たちと活動したり春見つけをやってみるとちょっと多いなと私の感覚で思いました。担任の先生も、中山から変わってこられた先生もおられたので、やっぱりそのような印象を持っているということで、本当に多かつたんだなっていうような印象でした。

大山きゃらぼく保育園は、今後もっと増えていくようであればちょっと考えていけないなという風に思いました。

16日、大山カレッジ入学式がありました。これは教育委員会管轄の事業ではないんですけど、私は講師ということで出席させてもらいました。今年は20数名で、新しい方も入られ、なかなか活気のある大山カレッジの入学式でした。

18日には大山小学校のPTA総会がありまして、ここでは小規模特認校制度について説明に行きました。私と下島さんで行ってきたんですが、皆さんからは前向きな意見をいただきまして、小規模特認校制度を来年度からやる方向で検討してるって言ったら、特に反対意見もありませんでしたし、むしろ進める方の意見をたくさんいただきました。そういった意見もいただきながら、4月30日には総社市の視察が入っております。これは、小規模特認校のこととか特区ということで、英語特区、体育特区、学校ごとに特色を活かした取り組みをされてる小学校を学びに行ってきます。

山本委員さんも一緒に行ってくださいということで、ありがとうございます。

23日には、全国学力・学習状況調査がありました。この時にタブレットを使って英語の試験もあったわけですが、英語の試験ともう1つが質問紙。中学校はタブレットが新しくなりましたので、画面も大きくなり快適に使えるようで、特にトラブルもなく、無事に調査が終わったという報告を受けております。

27日には、坂下裕一さん。5月からの次期教育長さんがこちらの方に来られました。47都道府県の中で、1県だけ来たことがない県があったって言うておられて、それが鳥取県でした。旅行でも仕事でも用事がなく、46都道府県は網羅できていて、最後の1県だったということで、これで全部コンプリートされましたねって、2人で喜んだんですけど。

朝8時の飛行機で来られて、17時の飛行機で帰られたんですが、1日かけて、役場職員、教育委員会職員、それから町内の全部の施設を見て回りました。山本委員さんにも急遽来ていただいて、面談していただきました。1つ言うておられたのが、全部を見て違和感を感じたことが1つだけあるということで、横須賀市教育委員会に3月までおられたんですよね。横須賀市は70学校があると。本町は7校ですので、だいぶ規模が違うんですけど、1つ違和感を感じたのは、門扉が無いですねって言われたんですよ。横須賀市は学校が全部、塀とかフェンスで覆われていて、子供が全員入ると門扉の鍵がかかる。外から絶対入れないような状況で学校が始まっている。大山町はなんで門扉つけないんですかって言われて。門扉をつけたとしても、どこからでも入れますから。塀もフェンスも無いじゃないですか。どこからでも入れますから門扉に意味がないんですって言ったら、いくらでも自由に不審者入ってこれますよねっていうような感覚に、ちょっと違和感を感じられたということでした。

保育所はちゃんとフェンスで覆われていて、玄関または門扉を通らないと入れなくなっているというのは見てもらったんですが、学校はそうではない。

ただ、大山町に限らずに、大体どこの県内、どこの学校も門扉が無い。高校でさえもそうじゃないですか。

山本委員

そうですね。門扉はないですね。車でスーッと入れます。

教育長

名和中学校の桜のそこなんか車が入ってきたり。

山本委員

あそこは公道ですから。門はあるんですけど、実は全部公道ですから。勝手に門抜けられるんです。

教育長

公道が学校の中を走っているとそうですね。

大山小学校も随分離れていて、公道が途中で入ってるというようなところで、そこはやっぱり都会の学校の感覚なんだなっていう。ちょっとそういった違和感を感じられたそうです。大山小学校に向かう途中、坊領のあたりで、こんなところ、夜怖くないですか。鹿や猪が出てきますよ。暗くて怖いでしょうねって坊領の辺で言われるんですよ。

その後、もっと怖いところ行きましょうかって言って、保育所から峠越えた赤松まで行って、赤松の体育館を見てもらって、私の家も見てもらったんですけど、あそこの山の中にこんなところがありますからねということで。モンベルのところから景色見ていただいたので、温泉の駐車場のところに車停めて、とやま旅館の方が教育委員さんですよって紹介をしておきました。漢字が珍しいでしょと説明をしておきました。なかなか旅館まで行ってご挨拶は時間的にできなかったですが、結構、全部の町を見ていただきました。次回の定例教育委員会で皆さんはお会いされます。

山本委員

その前にヒアリングがありますね。

教育長

というようなところが議事日程の第2ですが、この1ヶ月間を皆さん見られて、皆さんのご感想なり感じられたこと等ありましたらお願いいたします。

兎山委員

私は名和小学校と名和中学校の入学式に行かせてもらいました。

名和小学校はさすがにちょっと1年生の人数も多くて大変だなと。先月まで保育園だった子が入学式、人数多くて大変だなと思ってたんですけど、最初から最後まできちんと座られて、立派になりました。

私たちが体育館に入る前に新1年生さんが並んでいたんですけど、おめでとうございまして言いながら通ったら、子供たちが先生にちゃんと言われてたんでしょうね。

「シー」って、ちゃんと喋らないで静かにしてたいっていう気持ちがあったみたいで、

「シー」って言われたりとかして。ちゃんと言うことをよく聞かれてました。名和中学校さんは、在校生の子で、あっとした子もいましたけど、特に問題無く、座っておられました。ちょっとおかしく、服装ギリギリかなみたいな子もいましたけど、新入生の子はすごく良い返事をする男の子が2人いて、短く大きな声で返事をされて、すごく目立っていました。良い雰囲気の中、小学校も中学校も良い入学式でした。

#### 向陽委員

私は大山西小学校の入学式に行かせていただきました。

入学者が36名で、卒業式の時もそうでしたけれども、ちゃんとフリガナが振ってありました。フリガナが無いと読めない名前が多いので、良いなという風に思いました。

入学生みんな落ち着いて式に参加しておられました。会場の雰囲気も良く、やっぱり佐藤校長先生の指導が素晴らしいですね。ただ、後ろに保護者がおられるし、広いので配置をもう少し考えられたらいいかなという風に感じました。

#### 門脇委員

私は中山小学校と、最後、大山中学校に行かせていただきました。中山小学校は山根副町長さんが特別に祝辞に来られて、とっても上手に落ち着いて、「祝辞というのはお祝いの言葉です」から始まって、本当に1年生に向かって上手だなと思って聞いて、すごい落ち着いて、ああいう風に話すんだなって、校長先生も守ることを、ちゃんと作って、すごくわかりやすく言われていました。在校生の歓迎の歌がとっても、みんなすごく良い声出して、素直だし、びっくりしました。1年生もすごくきちんとしてました。

午後からの大山中は教育長と一緒に、地元なので変な緊張感がありました。知ってるような子が、きちんと制服を着て中学生になったんだなって思いました。あそこだけ大山西、大山と2つの小学校から入ってきたので、そういう緊張感はやっぱり生徒同士もあるのかなと。52名でしたね。確か52名。でも、在校生も結構きちんとシーンと聞いていて、後でいろいろ批評を受けました。私の告辞の内容をすごい真剣に聞いてくれて、在校生の子があな部分は良かったです。とか。なんか、やっぱりいい加減聞いてるのかなと思ったら、意外ときちんと。今更ながら最後まで緊張してあんまり考えてきませんでしたけど。

校長先生が新しくなられて、とってもよく通る、声が高い校長先生で。私が終わってから、先生の声、すごい高いですねって言ったら、野球を長くやって、それで鍛えられて、だから、長嶋さんみたいな感じかなと思って。ああいう感じのその声で、あーっとはっきり喋られた。それでちょっと納得して、みたいなところで。

でも、なんか校長先生もすごく張り切っておられるし、なんかその後も校門にいつも立つとられるみたいで。うちの生徒が言ってますけど、校長が1番毎日挨拶に立ってくれてますってね。だから、すごく本当に学校良くしていこうと意欲も、校長先生もね、素晴らし

いなと感じました。

山本委員

まず日程的に、先に名和さくらの丘保育園の卒園式に行きまして、卒園生が31名だったんですけど、2人どうも名和小ではない小学校に行かれるということで、どうも出雲園長先生はそういう感覚を持つと涙もろくなって、いつもどおり私も泣きますから、皆さん泣きましようだったんですけど、ものすごい早い段階で、もう園長の言葉で泣き出されて、思わず町長さんが終わってすぐ、園長さん、早く泣きすぎですってつっこんでおられました。

園児の方は、もうみんなしっかりとあの保育園の思い出と、小学生で頑張りたいことを1人ずつしっかりと大きな声で言えて素晴らしいなど。それから、入学式は大山小学校に行きまして、教育長さんも一緒にしたけど、私、大山小学校初めて行ったんですけど、入学生が5名で、ただ、その少人数ながらの設えと言いますか、1人1人と校長先生が握手をして一言声をかけるっていう、そういう設えをしておられて、やっぱりそういう小規模ながらも活かした入学式だなと思って見せていただきました。

それから、中学校は中山中学校に行きまして、私、中山小卒業式でも告辞をしましたので同じメンバーで、実は町長さんも一緒に、町長さんも中山小で祝辞を行って。で、中学校でも祝辞を言われたんですけど、その場で「私の小学校の時の祝辞を覚えていますか」という質問を町長さんがしてしまわれて。覚えてる人は挙手をしてくださいって。1人だけとかあげにくいだろうなと思って、私がぼってあげてあげたんですけど、入学生は誰もあげない。緊張してるからか本当に覚えていないのか結局これだけ話をされました。

あと、歓迎の言葉を友人の息子さんがされて、あと誓いの言葉を娘の去年の担任の先生の息子さんがされて、それぞれしっかりとした挨拶をされて素晴らしかったです。また、ちなみにうちの息子が名和中の入学式に参加しまして、その時の入学生の挨拶が素晴らしかったって言って帰ってきました。

素晴らしい入学式でした。その入学式の関連で、高校の入学式と被るのは、これはもう、大体こんな感じなんですかね。

ちょうど、中学校の入学式と高校の入学式が、ほぼ同じ時間帯にあるんですけど、うちの娘と一緒に入学した友達が2人いて、2人とも3つ下に弟がいるんですよ。

そうすると、名和中の入学式で1人の人は、お父さんとお母さんって分けられてたんですけど、もう1人の友達は、お父さん、仕事でもう行けなくて、お母さん、高校の入学式で、中学校の入学式は、誰も出なくて、でも、教頭先生、それでも、お母さん、ホームルームだけでもっておっしゃって、高校の入学式終わって、急いで中学校のホームルームだけ参加されたみたいなの、そういうお話があつて、これはもう、こんなものなんですかね。

教育長

さあ、どうなんですかね。

幼児・学校教育課参事

調整することはないですが、高校が今年遅かったなっていうイメージがちょっとありましたけど。

山本委員

例年もっと早い。

幼児・学校教育課参事

高校の方が大体早いイメージ。イメージ的にはありますけど、調整することがないので。可能性的にはあり得るかもしれませんが。

教育長

たまたまかもしれないし、わざと一緒やってるわけではない。

教育次長

県立と私立も一緒ですか。

山本委員

私立はずらします。私立はもうちょっと早い。

教育次長

県立が一緒だったってことですか。

山本委員

意外と話を聞くと、3つ違いの兄弟って意外と多いんだなと思いました。

教育長

両方行きたいですよ。米子市も中学校とか午後ですか。

幼児・学校教育課参事

米子市は1日ずつずれてました。なので午前午後で同じ日に。午前が小学校で午後が中学校だったと思います。前は違ったかもしれませんが、今年は関わってたんでわかっただけなんですけど。米子は10日でした。

教育長

ありがとうございました。

### 日程第 3 報告第 1 号 大山町立学校の学校医の委嘱について

教育長

では、日程第 3、報告第 1 号大山町立学校の学校医の委嘱についてということで、事務局よりお願いいたします。

幼児・学校教育課長

はい。学校医の委嘱についてということで、資料 4 ページの方になります。人事異動によりまして、名和小学校、名和中学校の学校医、田中宏征さんが退職、新たに川上建さんが委嘱ということになりました。以上です。

教育長

報告につきましてはよろしいでしょうか。

全委員

了承。

### 日程第 4 報告第 2 号 議会の議決を経るべき事件の議案について (令和 8 年度大山町一般会計補正予算 (第 1 号) 教育委員会所管の予算)

教育長

では、続きまして、報告第 2 号、議会の議決を経るべき事件の議案についてということで、令和 8 年度大山町一般会計補正予算第 1 号、教育委員会所管の予算ということで報告をお願いします。

幼児・学校教育課長

はい。資料の方が 6 ページの方になります。学校管理費、中学校費の事務局費で、西伯郡中学校会の負担金 16 万 6,000 円を補正計上しております。以上です。

教育長

報告につきましてはよろしいでしょうか。

全委員

了承。

## 日程第 5 議案第 1 号 大山町教育振興基本計画の改定について

教育長

では、議案第 1 号に移ります。大山町教育振興基本計画の改定についてということで、事務局よりお願いいたします。

幼児・学校教育課長

資料の方が 7 ページになります。教育振興基本計画の改定ということで、この度、4 月 1 日に図書館が町長部局に行ったということで、内容を改訂しております。内容につきましては西尾課長の方からお願いします。

社会教育課長

資料の方に移りましてですけども。5 ページの教育施策の老朽化の部分で、図書館が移管になりましたので、その関係の文言を修正いたしました。

そして、8 ページになりますけども、5 つの枠がございますけども、国際交流の部分がございまして、その部分を抜きました。その関係で少し表現の方変えさせていただいております。それと、1 番最後の枠ですけども、図書館がなくなり、移管によりまして、ガイドがなくなりましたので、スポーツも 1 つにまとめておりましたのを、2 つ枠を使って表現をさせていただきたいということにさせて、変更させていただきました。

1 つ 1 つは細かくは言いませんけども、新しい内容のものはございません。

教育長

赤で書いてあるところが直ってるんですね。10 ページ。

社会教育課長

はい。赤の部分が。修正あるいは排出という部分です。

教育長

はい、わかりました。では、ただいま説明のありましたこの基本計画の改定につきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

全委員

了承。

教育長

よろしいでしょうか。はい、では、ご承認いただきました。

**日程第 6 議案第 2 号 令和 8 年度大山町立小学校の防火管理者並びに主任、主事の任命について**

教育長

では、続きまして、議案第 2 号、令和 8 年度大山町立小学校の防火、防火管理者並びに主任主事の任命について、また、この辺りずっと関連しますので、議案第 3 号、議案第 4 号まで説明をお願いいたします。

幼児・学校教育課長

はい。まず、議案第 2 号です。12 ページの方になります。令和 8 年度の大山町立小学校の防火管理者並びに各主任主事任命候補ということで一覧をつけております。防火管理者が各小学校の教頭先生、あと一覧に書いてあるお名前のとおり、任命候補として挙げております。

**日程第 7 議案第 3 号 令和 8 年度大山町立中学校の放火管理者並びに主任、主事の任命について**

幼児・学校教育課長

続きまして、議案第 3 号の中学校の防火管理者及び各主任任命候補ということで、14 ページの方になります。中学校につきましても、防火管理者は各学校の教頭先生となっております。各主任、主事の任命候補は一覧表のとおりでございます。

**日程第 8 議案第 4 号 令和 8 年度大山町立学校司書教諭・特別支援教育主任・衛生推進者の任命について**

幼児・学校教育課長

続きまして、16 ページになります。大山町立学校の司書教諭特別支援教育主任衛生推進者候補者名簿ということで挙げております。こちらにつきましては、衛生推進者が全て教頭先生ということになっております。司書教諭と特別支援教育主任につきましては、一覧表のとおりでございます。以上でございます。

教育長

はい。説明のありました議案第 2 号につきまして、また議案第 3 号、4 号につきまして、

ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

全委員

了承。

教育長

では、よろしいでしょうか。

では、議案第2号、議案第3号、議案第4号、ご承認いただきました。

### 日程第 9 議案第 5 号 大山町立学校における学校運営協議会委員の任命について

教育長

続きまして、議案の第5号、大山町立学校における学校運営協議会委員の任命についてということで、事務局より説明をお願いいたします。

幼児・学校教育課長

はい。資料の方が18ページからになります。まず、グレーの部分が変わられた方ということでございます。中山小学校が、中山公民館の田中館長、PTA会長の大野木さん、中山みどりの森保育園の増浦園長が代わられておられます。名和小学校の方は、名和さくらの丘保育園の園長ということで山根園長に代わられておられます。続いて、19ページです。大山西小学校で、大山中学校長の山田校長、大山きゃらぼく保育園の出雲園長、大山公民館の谷田館長、大山口駐在所の角さん、大山西小学校の金田さんが変更となっております。大山小学校です。大山小学校は、住田教頭先生が変わられたのと、大山中学校長の山田校長、大山保育所の山崎所長、PTA会長の日口さん、あと鳥取大学医学部の金城先生が代わられておられます。続きまして、20ページ、中山中学校になります。中学校には、中山中学校長の前田校長、中山みどりの森保育園の増浦園長が代わられております。名和中学校です。こちらも名和さくらの丘保育園の山根園長が代わられておられますし、名和中学校の事務主事ということで山村さんが代わられておられます。最後、大山中学校です。校長先生の山田校長、あと大山中学校教務主任ということで、久米さん、大山公民館長の谷田さん、大山小学校長の糺校長、大山きゃらぼく保育園の出雲園長、PTA会長の小原さんが変更となっております。以上です。

教育長

はい。ただいま説明ありました学校運営協議会委員の任命についてということでありますが、これにつきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

全委員

了承。

教育長

それでは、よろしいでしょうか。

では、ご承認いただきました。ありがとうございました。

### 3. その他

教育長

議案としてはこれで終わります、3番のその他についてお願いいたします。

教育次長

私から、2点あります。その他の資料の大山町版生徒指導の基本方針をご覧ください。各小中学校と生徒指導はなかなか苦戦しておりまして、町としての方針を立ててほしいというご意見をいただきながら、やはり基本となるこの文科省が出してる「生徒指導提要」を踏まえて、県教委とも相談しながら作成しました。

それで、これは案というところ取りまして、各校に送付して、もしかして持って帰っておられる、これを出しとられる学校もあるかと思えます。

昨年度の実態としまして、服装とかに苦戦、苦慮された学校とか、やはり生徒指導ってなんだらうっていうところをまず町としてはっきりしてもらいたいなっていうところで作成しております。なかなか県内で作成してる町村はない。市町村はないと思えますので、県とも協力しながら作ったというところですよ。以上です。

教育長

その他ありますか。

教育次長

はい。もう一点お願いします。

教育長

お願いします。

教育次長

はい。資料にあります。大山町立学校教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画というのを作成いたしました。これも4月からということで、これは国のですね、公立

の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法等の一部が改正され、各市町村の教育委員会で作成しなければならないということがありまして、4月からこれを実施しております。その教職員の業務適切な管理と健康、福祉を確保するための措置ということで作成いたしました。8年度から11年度までの目標ということで上げております。

これを基にですね、学校でも同じ学校版のこの実施計画を作成していただいております。

第1回目の学校部協議会で承認を得るということになっておりますので、各学校も今作成しております。以上です。

教育長

他にありましたら。

#### 幼児・学校教育課参事

別紙資料でお配りしておりますが、学力向上事業の実施報告書ということで、3中学校分をお配りしております。内容についてはまたご覧いただいて、何かありましたらと思いますが。全体的に、昨年度ですかね、この報告書でグラフがある方がっていう意見もいただいております。なかなか様式を丸がえするのが難しい学校も。数値は書いてあるんですけど、その辺については今後この報告書が出るまでにまた各学校と相談しながら進めていきたいなと思っております。全体的にそれぞれの学校がしておられることはありますが、この学力事業はずっと年の2回のテストとアイチェックと呼ばれる生活等に関わるチェックリストを使って行うことをベースにしております。その学年によってそれぞれ色々な差もあるというところはありますが、もうちょっと家庭学習の充実というのをちょっと掲げている中で、やっぱり課題として上がるのは、子供自身が立案して計画をして、課題をやり遂げるということなんです。自分が計画をしてるってところがかかなり低いことと、それをしない子の差はあるので、どうしても土日祝日とかに学習をしない子が、まあまあいるというところがどの校区も課題として伝わってきます。これを今年度、どうしたらいいかという指針をこちらの方からも各学校に提供してみようかなと、今取り組み始めております。多分、課題は出しておられるんですけど、これが子供たちにとっては自分が計画した勉強ってところには結びつかないので、させられてる勉強というところに、こうやってアンケートを取ると、なかなか数値評価として現れないのかなという風にはこちらも捉えております。

例えばですけど、自分がしてきたのは、土日祝日どんな勉強するか少しみんなで話し、1つでも決めて帰ろうっていうことをして、自分で決めたことを自分でしたかどうかを週明けにチェックするみたいなことをしたんで、そうやって自分で計画したって思いが少しでもあれば、評価の方に自分で計画してやったって風になっちゃうのかなと思っております。大山町の家庭学習の取り組みという冊子を作らせていただいておりますし、ICTも入ってきたので冊子も今年度考えていこうという風に昨年度から計画はしておりますので、その辺も啓発していきながら、この報告書の方に来年度は何かいい数字で

上がってくればなど考えております。今年度から1年生の英語のテストも加えて1年生の英語についても見ていくように計画を加えておりますので、また計画報告の方、お願いさせていただきますので、何かありましたらおっしゃっていただければと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

教育長

はい。それでは、他にその他がありますでしょうか。

教育次長

その他で、大山町部活動地域展開地域連携推進計画案をご覧ください。内容につきましては担当の中嶋部活動コーディネーターに説明していただきます。

中嶋部活動コーディネーター

私、部活動担当と合わせてコミュニティスクールの担当してます中嶋と申します。今日はよろしくお願いいたします。では、資料の中にあります部活動地域展開・地域連携推進計画についてちょっと説明したいと思いますが、皆さん、どの程度、部活動、この地域展開移行、以前は移行って言ってましたけども、今は展開ということになってますけども、どの程度ちょっとご存知か、知ってもらえることをあえてまたこれ説明する必要ないと思いますので、教えてください。さっぱりでしたら簡単にですけども、流れをご説明したいと思います。なかなか、部活動ですから、まだ、メディアではチラチラとは言ったりしますけども、そんな公にはなってはないと思います。

まずはですね、ここに至るまで、平成30年ですね。部活動のあり方のガイドラインというの策定されました。これは、教員の働き方改革、それから働き方、教員の超過勤務、働き方改革、その辺からスタートしております。大山町、県も出しました。その国から出たものを県が策定して、さらにそれを大山町が受けて大山町が令和元年6月に作りました。大山町が出すあり方に関する方針ということで中身は、休みを作るとか、土日どっちかも週とか1日3時間以内というような内容になっております。

さらに、それを受けてですね、国が今度は翌年に、平成31年に部活動を地域に移そうじゃないかという答申を出してきました。これは、中身も当然これは教員の働き方改革を第一にやりました。第2に少子化対策、この2つの柱で答申になりました。

さらにそれを受けて令和2年にスポーツ庁の方が学校の働き方改革を踏まえた部活動改革ということで、これも方針を出しました。部活動は段階的に地域に移せと。

そうすることで教員の働き方改革も改善されるんじゃないかということで動いておりましたが、それが進んでるうちにですね、最初、国は教員の働き方改革全面に出してきましたけども、今はそれが2番目になってます。1番目が少子化対策、子供。そっちが今1番にしています。そこで、国が出したものは、令和5年から令和7年。

この3年間を改革推進期間として段階的に部活動、地域に移していく計画を下さいとい

うことになりました。

それで、令和5年からです。ちょうど私がここにお世話になってからスタートしましたので、大慌てでした。そこで、この3年間、大山町は何をしてきたか。

その前に、この令和5年から令和7年は地域移行という表現でした。移していきなさい。移行という表現でした。そこで大山町も在り方検討委員会結成します。

総勢20人ほどのメンバーですけれども、今現在に至って8回検討委員会してきました。

この5年、令和5年から7年の間何をしてきたかと言いましたら、ほとんど課題を挙げてきました。どんな課題があるか、時間をかけて、時間をかけて、いろんな分野から課題をいただきました。今年、令和8年になるんですけれども、今度は国の方が地域移行から地域展開、表現がありました。さらにそれを広げなさい。ですから、この令和5年、令和8年から令和13年までを、今度はこれ改革推進でしたけど、実行期間になります。

もう完璧にやっていきなさい。それはもう大山町からすごいプレッシャーです。

どんどんどんどん進めていきなさいということで、そういう動きになってきましたけども。この5年間、7年の間、大山町も課題を挙げて、何ができるかっていうことをしっかり検討してきました。何をしてきたかっていうことはまた後の方でご説明したいと思います。そして、この令和8年から、今年ですね、今年から3年間、令和10年までが先ほど申しました改革実行期間、前期ということで国はしてきました。県も、今年の3月ですか、推進計画を策定しました。それを受けて、大山町もご覧いただいたと思いますけども、県の推進計画を受けて大山町も独自のものを作っていましたという流れで来ております。これから話せば2時間かかるんで、1人で見ていただくためには、資料の中の1番最後にこういった色のものがあつたと思います。12ページですか、これを見ていただいた方が。よろしいでしょうか。まず、これが大山町の部活動、地域展開のも全体像ということで、これも作ってみました。国が改革実行期間前期ということで挙げてきております。

令和10年3年間、さらに中間評価というのがあります。つまり、この3年間の成果を受けて、また課題が出てきたらまた内容を変えていくということで、それがさらに令和11年から13年までが実行期間の後期ということで挙げてきております。

県の方針はどうかと言いましたら、地域展開型を基本とし、地域展開ってことは、つまり、今までは学校と地域が、対立ではないですけども別々になってましたけども、それを地域の人材で、地域全体で子供たちを見ていこうと、支えていこうというのが地域展開としてという意味です。それを拠点校型、難しいですかね、拠点校型と言ったら、例を挙げますと、名和中学校があります。

名和中学校にはバスケット部があります。大山中学校にはバスケット部はありません。

でも、大山中の生徒でバスケットがしたい。ここで可能です。指導者がいますから。ここで活動できるんですが、大山中の子は、大山という名では出ません。名和の名で出ます。それから合同部活するのは、これはもう合同で、今野球とかバレーとかですかね、野球とかやってますけども、これは両方の名前、名和中山とか大山名和とか、という名前が出て

ます。その型か、あるいは地域連携型、これは今の部活を存続しながら、その中で部活動指導者に地域の人を入れて部活を見てもらう。そうすることで先生方の働き方改革に貢献できるのかなというのが県の方針です。大山町どうしようかということで色々検討してきましたが、まずは今のことを考えてもいけません。

先のことを考えると、8年後、ここが1番大山町でしんどいところです。

子供の数が極端に減ります。資料にもあげておりますけども、今の小2が中3になったら、大山町のこの3校の生徒数、今の半分ぐらいになるんじゃないかと思えます。

そうすると、もう単独の部活っていうのはほぼほぼ難しいのかなということで、メンバーの方々あるいは校長先生方にも、8年後はこういう姿になるので、少しでも試しにでも大山町の取り組みを進めていかないといけないなということで話し合っております。

そして1番下が大山町の改革のイメージですけども、これがうちの方針です。

まず、黄色の部活動、大山町は部活動は原則加入にしています。民間クラブに入ってる子、例えば米子のバレーボールクラブ入ってる子とか、そういう子に関しては自由ですよ。部活入らなくてもいいし、入って基礎体力養うこともできますよ。

これはもう任意加入にしています。これは昨年からこういう動きを取っております。

そして休日。休日に関して合同練習する際には、大山町にある予算、部活動移動バスということで、1台、2台動かして中山に行ったり、それぞれ場所移動に活用しています。

年間80万ぐらいですかね、予算。今半分くらいかな、昨年実績ですと半分ぐらいできたということで、非常に保護者の方や生徒たち本人、非常に喜んでます。

今までは保護者が送迎されてましたけども。ということで、非常にこれは好評でした。

今そういう動きをしてまして、それから公民館あるいは地域組織さん、そこと連携しながら、ゆくゆく子供たちが放課後、こちらの参加できるができるように話を進めております。よくおしかつ大山クラブ、よく文化祭で劇を年代を超えてやってますよね。

あれの練習にも、今年も中山中の生徒さんたちに言って、放課後行ってもオッケーというように、校長先生の方、柔軟な対応していただけるよう話をしております。

ですから、子どもたちが放課後、こういった公民館活動とか地域自治組織の方に自由に計画を立てながら進めて、自由に行き来できるということも進めております。

あと、今進んでるのが吹奏部。どこの鳥取県内どこもまだ着手してませんから。

今年は吹奏楽をちょっと試しにでもやってみようかなと思っております。

今、そういう話を校長先生方とか音楽関係者と話を進めてるところでして、どうなるかわかりません。とりあえずやってみようじゃないかっていうことで進めております。

地域クラブという言葉が出てくるんですけども、最終的には地域クラブ。

地域クラブというものは大山町、町が認定したクラブということで、要は部活動の精神を受け継いでるっていうことですから。勝利主義に走らないとか、やっぱり人間教育も入ってますから、そういう点も含めて、町が認定したクラブ、地域クラブと言いますが、大山町はそこまではとてつもないですから、この1年、2年で無理です。でも、なんとかこの

合同部活動を一緒にやる。それから拠点校型、どっかの学校に行って、そこに地域の人を入れることによって、そこから広げてって地域クラブにしていけばいいのかなというところ。まだほとんど県内バンバン進んでるところがありません。いろんな課題を抱えて、少しでも大山町は吹奏楽だけじゃないですけど、ちょっと吹奏楽を試しにやってみようということで校長先生方がのっていらっしゃいます。

はい、ちょっとざっくりでしたけども、よろしいでしょうか。

あとはよろしくをお願いします。

教育長

質問等ありますでしょうか。はい、どうぞ。

門脇委員

ちょっと私の知ってる子で、バスケットが強くなりたくて大山中に行った子なんですけれど、バスケ部がないですね。

中嶋部活動コーディネーター

ないですね、はい。

門脇委員

小学校の時から琴浦のクラブチームに入っていて  
そういうのがこういう中に認められるんですか。町外での活動。

中嶋部活動コーディネーター

大山の子でバレーボールしてる子がクラブに行ってる子もいますので。  
ですから、その子は部活に入ろうが入るまいが。

門脇委員

だったら学校内で何かのこう、生徒会とかその他入れるようなものに所属した方が、なんか内申、昔は受験のためにやっぱりそういう校内で活発に活動してたみたいなのがあるので、生徒会とか、そういう科学部とか美術部とか、そういうのに入った方がいいのかなと思って。

中嶋部活動コーディネーター

それはいろんな考え方がありましてね。この前も保護者と話をしまして、外部クラブに行きたいんだけど、でも部活に入ってるといういろいろと人間関係があっというかなというところもあって、先ほどの入試のこととか、内申点のこととかってありますけど、確かに

部活に入れば、それはね、人間関係もあつたりしますけども、それ考えとつたら何もできませんし、それはそれで普段生活がありますから、そこで心配されなくても。

それから、入試に関して、その内申点とか、ちゃんとその学校と地域クラブ、保護者が間に入るんでしょうけども、ちゃんと実績の連携はできるようにしてますし。

そういったところは学校側も意識しておりますので、そこは心配される必要ないかと。

門脇委員

一昔前は、やっぱり校内でちゃんと活動して、部活とか生徒会でやって、内申点が上がるみたいな、そういう考えもあった。じゃあ、今はもっと広げて。

中嶋部活動コーディネーター

しっかりとそういう情報を共有してですね。どこどこ全国大会で何年、クラブで参加した、優勝したっていうことも書きますから。

門脇委員

わかりました。

中嶋部活動コーディネーター

あとは、うまく連携ができるかどうか。どうしても保護者が入りますし。

門脇委員

わかりました。やっぱり部活の数がね、種類が少ないので。なんかその辺がすごく。

中嶋部活動コーディネーター

確かにそれも悩んでる保護者の方がありました。

門脇委員

ありがとうございました。

中嶋部活動コーディネーター

バスケット部において。仮にですよ。  
じゃあ部活は体力作りで陸上部に入るっていう子もいます。体力作りで。

門脇委員

最低限ですよ。

時間、学校にあるもので。

中嶋部活動コーディネーター

やっぱりその繋がりを大事にしたいという。

門脇委員

今の子はいろんな習い事して忙しい。とにかくなんか毎日スケジュールあって、そういうゆとりがあるのかなと思って。わかりました。

中嶋部活動コーディネーター

ありがとうございます。

兎山委員

これからその学校単位で出る大会とかっていうのは減ってくる感じですか。

中嶋部活動コーディネーター

そうですね。1番学校単位でなくクラブでできるのは、バレーボールとかソフトテニスとか、なんちゃらクラブ。どこに何のクラブなのかわからないところがありますので。また、野球や、ああいったところは中学校名が多いんですけど、ちょっと競技によっては、バレーボールが1番優勝するのは、そういったクラブがやっぱり強いですよ。

門脇委員

先ほど吹奏楽の話をされたんですけど、一時、総合文化祭に合同チームとして吹奏楽が2年か3年出た時期があったと思うんですけど、やっぱりああいう形の練習っていうのはどうしても難しいっていうことですか。

中嶋部活動コーディネーター

実はですね。昨年それをやってみようと。はい。いや、自分、ちょっとあれで、やってみたらって簡単に言ったんですけども。それぞれまず立地条件というのがあるんですよ。中山中学校は音楽室が1階にある、名和中は3階、大山中は2階にある。で、それぞれどこで練習するにしても、楽器の持ち運び、移動、それから車、バスですね、移動に往復1時間費やすと。で、なかなかそれは難しいだろうと。楽器も積んでっていうことを考えると、それはちょっとダメでした。で、今考えてますのは、将来的には本当に1つで大山町の楽団を作りたいです。今はなんて言いますか、1年生あるいは初心者の子がいっぱいいますので今年は。そういった子を1か所に集めて講習会しようじゃないか。そこで横の繋がりをつけといて、そっから色々やってみようということを考えており

ます。それから、別に3校一緒にならなくても、名和と大山がくっついて、中山単独でちょっとやってみたらっていうのも今考えてるんです。中山が考えておられるのは、小学校も巻き込む、金管の楽器を巻き込んで、放課後、小と中が一緒にやるっていうのも、わりと近いですから。

#### 門脇委員

音楽の場合、同じ曲練習するのに、パート練習をきちっと各学校でやっとならば、2回ぐらい合同練習して本番みたいなことも可能なのかなって。

常に一緒に練習するのではなくて、そういうのもありますし。

前、中山中に、伊勢先生でしたっけ、プロの方が、来られて。

#### 中嶋部活動コーディネーター

ありました。

#### 門脇委員

でも、なぜあそこだけなんだろうと思って。

#### 中嶋部活動コーディネーター

実はそれを去年しようとしたんです。伊勢先生の弟子か、その次の人だったかな、が来て、指導したい、ちょっとちょあつた時に、やはりその、まず音楽教諭の考え方っていうのもあったり、なかなかね、音楽家の考え方もあったり、先ほどのその移動、それから謝金。やはりなんでも人材が、お金がかかるなってことがわかる。

そうしたところで、ちょっと結局はできなくなって、中山でやってみ、最終的に中山でやってみ、中山で例年通りやってみたらっていうことにたどり着いた。

#### 門脇委員

一昨年、大きな会をされましたよね。はい。福祉センターでゲストはいるんで、その時はなんか普通の町民の人もいっぱい関心持ってこられて、やっぱりちょっとプロのレベルの高い人と、あの時一緒に中学生とかも演奏があるのかなと思って期待していたんですけど、あの時はプロの演奏だけで、ああいういい機会に他の中学校も一緒に参加されたらよかった、同じね、先の現れる合同練習とかあったらよかったなと思ひまして。

#### 中嶋部活動コーディネーター

これからはもうそういう方向で進めていきたいなと思ひました。

なんせこの扇型の形をした大山町ですから、端から端まで移動するのがもうちょっと近かったらいい、あるいは名和でやるんだったら来やすいとかね、あるんですけども、それは

3校の中学生が集まって演奏するんだったら、それは町民が喜びます。

門脇委員

サマーブラスコンクールも毎年あって、やっぱり今は小規模スタイルしか出れないので。それにも、でも果敢に大山中学校もいつも出ておられるし、もうちょっと規模が大きくなったら、すごくレベルが上がるんじゃないかなと思って。

中嶋部活動コーディネーター

はい、おっしゃる通りです。

門脇委員

でも、小規模でもすごく大山中なんか1人1人がきちんとやっていて、結構ボリュームがあるなと思って、文化祭で聞かせていただきましたので。

中嶋部活動コーディネーター

どういう方向になるかわかりませんが、大山町吹奏楽部をなんとか進めていきたいな。どこもまだ手つけてませんから、どこの市町村も、

幼児・学校教育課参事

今、多分、どこの大会を目指されるのかによって、組みにくくなるのはあると思います。今みたいに、この例えば吹奏楽コンクールをイメージされると、じゃあどうやって年間やろうかっていう話になると、組みにくい現状があったりとか。なんかちょっと集まってそういう技術を高めていきましょうっていう目標だと組みやすいと思うんですけど、多分そこが1番ネックで、スポーツもそれで、さっき言われましたけど、どの大会に出るかっていうのが様々で、体育連盟なのか各協会なのかっていうので、だから結局そこが1番組みにくい原因になってるっていうのは今あると思います。

門脇委員

かつての総合文化祭では、合同でされたらやっぱり迫力あるし。

幼児・学校教育課参事

そのためだけの練習で集まるっていうプランだったらいいんですけど、結局それがバラバラになって、コンクール出ますよっていうのが、主になるので、そこが多分組む、組まないっていうところの1番のネックになってる。

#### 門脇委員

時期が違うのでね。コンクールは、それは夏の8月の初めぐらい

#### 幼児・学校教育課参事

だから、結局そこはそれぞれに指導者がおられるので、その目標によって、さっきも言われたけど、なかなかそこが1個にしましょうっていったとこの難しさだと思います。

#### 門脇委員

ああいう人前で演奏して発表すると、それだけでレベルが上がるので、ただ自分たちでコツコツ練習してるだけではなく、そういう発表の機会があったらいいなと思います。

#### 兎山委員

少子化ってことで、その団体競技で出るスポーツはすごく大変だと思うんですけど、スポーツ以外の文化部は、例えばその同年代の子たちのクラブじゃなくて、例えば美術とか囲碁とか、そういうのは、その大人たちのグループに所属とかってというのは大丈夫なんですか。

#### 中嶋部活動コーディネーター

そうしていくのが国の方針なんで、もう世代を超えて、交流含めてっていうのが方針なんですけれども、なかなかここもね、今、そのさっき話もありました中山中学校が小学校と一緒にあって、あるいは地域の方の、結構楽器をされる方もおられますので、一緒に巻き込んですると面白いなっていう話は今しております。

#### 兎山委員

元々ある例えば老人とかの囲碁クラブとかに所属とかでも。

#### 中嶋部活動コーディネーター

別にそれもオケです。だから、公民館にいろんな講座がありますよね、時間帯、中学生が行けばいいんですけども、なかなか時間が合わないっていうところがまた難しいところで、おっしゃる通り、でも、それが本当、理想です。

#### 山本委員

よろしいですか。はい、4点あります。

はい。まず1番最初に、先ほど兎山さんがおっしゃったところは、確かに国が目指すところでやろうとしていうところがあるんですけど、課題としておっしゃった時間の問題、つまり、老人の方だと平日の午前中にやっちゃうから生徒はいけない。

で、活発に活動できる世代の人は仕事終わった後にやるから、今度は7時とか8時代に行って子供が行けない、そこをどうするかっていう課題を抱えている地域があるっていうのを研修で聞きました。それで、まず問題の2点目ですけど、個人的にうちの娘は吹奏楽入ってて、で、息子は野球部に入ってるんですけど、先ほど話に出たようにチームが固定されないとコンクールでは敵同士、で、他の活動では一緒。野球部なら特にですよ。1年の時は名和中山大山で同じチームだったのに、今度2年生になったら大山名和で1チームで中山は敵になったみたいな、ちょっとそういうのがあればちょっと寂しいので、もうちょっとどこでできる指導していただいても。固定で大山町3中学校が合同1チームみたいなのを格好にするのか、グループチームにするのか、そういうのを指導指導してうまく作っていけるといいなと思いつつながら、吹奏楽の方ももう合同チームで、夏のコンクールも1つのチームとして大変成で出るようなイメージで動いていければいいのかなと思いつつながら。ただ、これも途中でやったら移動の問題ですね。やっぱり休日合同練習を大山中でやるって言うても親が送れないから、せつかくだけどその子は休みみたいなのところが出てきたりするの残念なんで、その辺りを手当てしていくっていうのは多分課題としてもう出て検討進めておられると思うんですけど、今から難しいなと。

#### 中嶋部活動コーディネーター

その件に関しましては、山本委員がおっしゃる通り、やっぱり将来というか、例えば野球、私は思うんですけども、大山町で1チームにしたら、これはなんていうか、子供たちにとってもいいことかなと思うんですが、指導者が1番担うっていうのが現状でして、色々探しますが、やっぱり子供を指導してもらおうとなったら、元教員か保護者か役場の、あるいは農業とか、なかなか公募にしちゃうとこれ大変なことになりますので、公募すると必ず、まず問題になるのがお金がいくらとかっていうとこ必ず出てきますので、私はそういったところではちょっと面談はしない意見でしょうし、なかなかそれは難しいかなと思いつつ。やっぱり子供のことをよくわかるとるって言ったら、学校の先生か保護者かスポ少の人か。役場、他にもあるんですけども、地域で見つけるのが1番いいのかなと思いつつ。なかなか行けないっていうと、部活移動バスって結構割と合同練習に参加するの確率が高い。以前はうちは車が出せないから土曜の練習行けないっていうところが他にもあったんですけども、この部活移動バスを出したらほぼほぼ参加できるようになりまして、本当にありがたかったなと思っております。ただ、バスはどうしても運転手さんの休みの関係もありますので、どうしても2台で回すしことしかできません。で、そこをうまくやりくりしながら今やってるのが現状です。

#### 山本委員

先程の話の指導者は、私のイメージは学校の先生ですね。  
文科省は、どう言うかわかりませんが、基本的にもう部活をそこまで地域に活かすのは

この地域では難しいだろうなと思って、あとは学校の先生の負担として、ローテーションでもあるとか、ただ意思是統一してみたいな、そんなイメージを勝手に持ってるんですけど、その辺はこれも検討で、最後に、ここ切ってますけど、グラフを、中学校生徒の推移と出生数の推移のグラフをつけていただきますと、面白いなと思ったのは、平成 22 年、23 年、24 年生までを出すと 285 人しかいないんですけど、令和 7 年の中学校生徒は 347 人もいる。もってという言い方しますけど 2 割も町外から転入してるっていうのは、うちもそうなんですけど、実は平成 26 年に大山町に戻ってきたので。ですので、この数字だけ、出生数の数字だけではなくて、やっぱりそういう取り組みはここでは関係ないんですけど、そういう視野も含めて 8 年後を見据えて動いていくと思って。

中嶋部活動コーディネーター

全体的に、この出生数の 3 年分足したプラス 30 ぐらいなんですよね。そんなだけ移動があると、

教育長

その他、よろしいでしょうか。皆さん、理解されましたでしょうか、パーセント。

山本委員

南部町がかなり思い切ったことされてるので、しっかりと情報交換していただいて、良いところ悪いところ。

中嶋部活動コーディネーター

はい、ありがとうございます。

教育長

南部町、相当苦勞しておられる、

教育次長

この前の会議で 2000 万、年間かかるって言うておられました。部活動でも、国から全然もらえないって言うて、教育長さんが発言しておられましたね。

教育長

国や県がお金出さずって去年言ったのに、第 1 番にやり始めて蓋開けてみたらお金が全然来なくて、どうなるんだ。1 番難しいのが吹奏楽だって言うてました。その南部町は地域とスポーツクラブがあるので、ある程度スポーツクラブは網羅できるん

だけど、吹奏楽をやるすべがない。で、南部町は2校しか中学校がないので、割とやりやすういかなって印象なんですよ。うち3校もあると、結構、今説明があったように、なかなか合同でやろうと思っても、場所の問題で難しいですね。理想の問題が難しいっていう部分があって、やっぱり吹奏楽ですから、人の楽器を使うわけにはいかないんですよ。というので、持ち運びが必須になってくるっていうんで、1番苦労するのが吹奏楽ということ、大山町はあえて、その難しい吹奏楽から進めていくという全県の模範となっていけたら。この案になってますけど、この案が正式になるのがいいですけど

中嶋部活動コーディネーター

在り方検討委員会はもうこちらで、承認じゃないですけども

教育長

ここで決を取って、案を取るっていうことですね。ここで承認いただくわけですよ。

中嶋部活動コーディネーター

在り方検討委員では通してくださいねってことですよ。

私もどういう流れになるかわからないんですけど。

教育次長

通すとなるとその他じゃないほうがいいですよ次回、正式に。

幼児・学校教育課長

議決案件じゃないでしょ。

幼児・学校教育課長補佐

議決にはなっていない。

教育長

了承ですか。その他でよかったですね。じゃあ、次回

幼児・学校教育課長

了承いただいたってことでよろしいでしょうか。

教育長

これは正式に案が取れて。

私の感覚では、もう1度同じような説明が次の時にも必要かなと。

この中のこのメンバーの中の3人が変わるので、やっぱり皆さんのその認識を同じレベルにするには、申し訳ないですけど、教育委員会のその他で、了承はいただいたので案をとったもので説明をしていただいた方がいいと思いますし今後のこともあるので、私は次の総合教育会議の議題にあげてもらいたいなと思ってるんです。予算のことも絡んできますからね。また総合教育会議にこういうのをあげたいんだけどという話もしていただいていいですか。

教育次長

わかりました。

教育長

中嶋先生、お疲れ様でした。これからも、基礎をきちんとしていただいて。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

中嶋部活動コーディネーター

貴重なご意見ありがとうございました。

教育長

ありがとうございました。

それでは、その他のその他があればお願いいたします。

全委員

了承。

教育長

では、よろしいでしょうか。本日はありがとうございました。  
以上で閉会といたします。

#### 4. 次回の開催日程

令和8年5月25日 午前9時30分

閉会宣言

午前11時00分